

142万馬券的中のロジックとは!?

2020年バーデンバーデンC

2020年5月3日 福島11R 4歳上3勝クラス 定量 芝1200m 16頭

着	枠	馬	馬名	性別	騎手	斤量	着差	人気	上がり	厩舎	通過順
1	7	14	アリンナ	牝6	鮫島克	55	1.08.4	21.0⑩	33.8	美・上原	13 10
2	5	10	アンプロジオ	セ5	菊沢	57	1/2	61.0⑮	34.2	美・菊沢	9 10
3	8	15	メイショウカリン	牝6	吉田隼	55	クビ	9.0④	34.4	栗・笹田	6 4

LAP:12.4-11.3-11.8-12.1-11.8-11.9-12.6
通過:35.5-47.6-59.4-71.3 上り:71.5-60.2-48.4-36.3

単勝⑭2100円 複勝⑭510円 ⑩1170円 ⑮350円
枠連⑤-⑦5110円 馬連⑩-⑭62270円 馬単⑭-⑩104320円
ワイド⑩-⑭11740円 ⑭-⑮2550円 ⑩-⑮6560円
3連複⑩-⑭-⑮114880円 3連単⑭-⑩-⑮1420980円

人気薄を相手に、1~3番人気を軽視した理由は明白!

推奨軸馬はメイショウカリンは近2走は不振にあえいでおりましたが、3走前は同じ福島芝1200m戦で、6番人気の評価で半馬身差2着に入った実績があります。このクラスでは2着2回3着1回。いつでも勝てる力は持っている判断しました。叩き2走目で前進も見込めるここは、程良く人気も落ち、走り頃と見ました。福島芝1200m戦では勝鞍もあります。結果3着とはいえ、馬券圏内を死守してくれました。

1着馬アリンナは、前走14番人気の低評価ながら、3着に突っ込んできました。それでも今回は10番人気にしか支持されませんでした。ムラ駆けタイプで、なかなか連続して好走することは少ないのですが、元々は将来を囁望された素質馬です。ここは相手に押さえておきました。

このレースの波乱になった立役者アンプロジオは、近走こそ二桁人気二桁着順が続いていますが、それ以前はこのクラスで連続2着に入るなど、実力は秘めていました。どこかで大駆けはすると思っておりました。以下のように人気馬に怪しい影があったので、この馬でも相手に推せた次第です。

1番人気スキヴォルケーノ(3.5倍、7着)は、デビュー以来14戦して1番人気8回、2番人気4回です。若干人気先行タイプで、未勝利を脱出するのでもぞりました。2走前にハンデ55キロに恵まれ勝利し、ここに駒を進めて来ました。しかし定量戦の今回は、57キロの斤量を背負います。また4ヶ月の休養明けでもありました。ここは人気で期待を裏切る可能性大と踏んで、買い目には加えませんでした。結果7着まででした。


2番人気ジュランビル(5.5倍、5着)はそもそ

もが、休み休みにしか使えない体質のひ弱さがあります。3ヶ月の休養明けの前走は、軽ハンデ54キロと恵まれたにもかかわらず、離された9着に終わっています。ここで2番人気は売れ過ぎでしょう。個人的にはほとんど注目していませんでした。

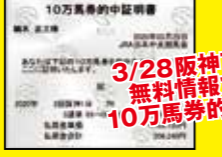
3番人気ジョーマンデリン(6.9倍、6着)は、前走ハンデ54キロで3着に入りました。しかしこの馬、出負け癖が解消しません。概ね後方からの競馬を強いられ、余程展開に恵まれないと勝ち負けにならないタイプです。この短距離戦での出遅れは致命傷になりかねません。ここは人気過剰馬として、買い目から削除いたしました。

このように上位人気馬を危険視することによって、人気は無くても好走する可能性のある馬を推奨することが可能になります。必ずしも毎回決まる訳ではございませんが、狙い続けているうちにビッグ配当に辿り着くことが出来ました。

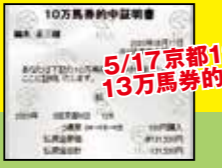
3連単だけで142万円超



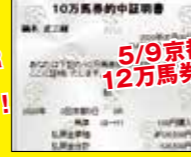
3/28阪神7R 無料情報で10万馬券的中!



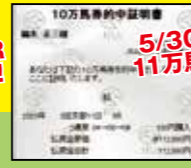
5/17京都12R 13万馬券的中!



5/9京都9R 12万馬券的中!



5/30京都8R 11万馬券的中!



そして、穴馬券を狙う以上は人気つまり世間の評価の逆を行っているわけなので、他人と同じことを考えていてはだめだということ。一般的に人気を左右する前走の着順は重視しないし、マスコミが煽るような良血馬や無敗馬などの人気先行型の馬には手を出さないようにしている。もちろん、上位人気でもさすがに鉄板だと思える馬は買い目に入れる場合

はある。オッズをみて明らかに実力以上に売れすぎている人気上位馬は買い目から外すのだ。では、穴馬をみつつけるコツというのはなにかあるのだろうか? 「実力以外のなにかしらの理由で近走に凡走した馬、初芝や初ダート、初距離などのコース替わり、休養明けの馬と出走時の馬体重、過剰人気と不当に人気のない馬の見極め、リー

ディング上位騎手による過剰人気と地味な騎手が騎乗している実力馬各馬のクラス壁などがポイントになります」好きな条件は未勝利戦や平場の500万クラス、裏開催のローカルだとより良いと言う。重賞やメイレーンなどは多くの情報が出回るが、注目度の低いレーンは情報量も少なく、記者や予想家もあまり予想に力

を入れていないからだ。とはいっても、先程紹介したGIやバーデンバーデンCなどのメインレースの的中例も少なくない。今回はバーデンバーデンCの予想の詳細、その他、今年的中させた数々の大万馬券的中例を紹介しよう。この中には無料で予想を公開していたレースもあるの、是非、一度、「美浦ドリーム」のサイトを訪れてほしい。

美浦ドリーム

大万馬券を的中し続け迎えた10周年



主宰：鍋木正三 (かぶらぎ・まさみ)
62年生まれ。大手製薬会社を退職後、調剤薬局を営んでいたこともある薬剤師。JRAが主催した「ドラマチック09〜オッズ・マスターズ・グランプリ」で、参加者9万459名の中、総合ランキングの第3位に入ったのをきっかけに、競馬情報会社「美浦ドリーム」を設立。独自の「単勝期待値理論」などを元に穴狙いに徹底した情報を会員に提供している。

<http://www.miho-d.jp/>
ブログ『守銭奴日記』もチェック
<http://mihodream.blog97.fc2.com/>



有料会員以外にも無料会員向けの予想も配信!

穴狙いにこだわり続け膨大な時間をかけて予想

今年で10周年を迎える「美浦ドリーム」は、現役薬剤師という異色の肩書を持つ鍋木正三氏が主宰する競馬情報会社だ。2009年にJRAが主催した「ドラマチック09〜オッズ・マスターズ・グランプリ」で3位(9万459名中)に入ったことがきっかけで2010年に開設された。それ以来、毎年コンスタントに大万馬券を的中させ、2017年には313万馬券を的中させた。100万馬券を的中させている。そして、2020年も5月3日の福島メインレース、バーデンバーデンCの142万馬券を的中! 近年は毎年必ず100万馬券を的中させ、驚異的な実績を残している。

また、注目度の高いGIでもその威力を発揮。キセキが勝ち、ふた桁人気2頭が2、3着に入った2017年菊花賞の55万馬券、ウグネリアンが勝ち、16番人気コズミックフォースが3着に入った日本ダービーの285万馬券などだ。

そんな鍋木氏の信条の根本にはあるのは、競馬で儲けるためには、いかに多くのレースを的中させるかではなく、いかに高配当を当てるかが大切だということ。

「的中率と回収率には相関関係など存在しません。あえて言うなら、的中率が上がっても回収率は下がる傾向にあります。ですから、私の予想は徹底した穴狙いになります」

と語る。ただ、大万馬券を年間に何本も中させるのは並の競馬ファンには至難の技。鍋木氏は試行錯誤の中、オリジナルの理論を築き上げ、毎週膨大な労力をかけて予想を行っている。「わたしは独自のスピード指数と単勝期待値理論を元に予想しています。これはわたしは何年も競馬を研究し続けてきた結果によって導き出されたものです。毎週レースのVTRを何時間もかけて繰り返し見て、指数を補正し続けているので、精度は日増しに上がっています。

例えば、あるレースを同じ馬同士が走ったとします。そこで、1着を5回以上獲得確率が高い馬の単勝倍率が2.0倍を超えていたらそれは買い、2.0倍を切っていたら消しとする理論です。同じ考え方で、1着を4回以上獲得するような馬は2.5倍を目安に、1着を3回以上獲得するような馬は3.3倍、2回獲得するような馬は5.0倍、1回でも1着を取れそうな馬は10倍を購入の目安とすると考えます。10回走って1回も3着以内を獲得しなような馬はさすがに消し、とする方法です」

また、鍋木氏は曖昧なフアクターは一切排除している。例えば、関係者コメント、トラックマンたちの厩舎情報、他人の調教やパドック評価などだ。これらは人間の主観が入ってどうでも受け取れることでもあり、それらを取り入れてしまうと予想がブレてしまうからだと言う。